

令和5年3月12日

神奈川県ソフトテニス連盟  
理事長 鈴木 敏雄  
競技委員長 君塚 亮一  
強化委員長 内田 一郎

令和4年度第29回全日本シングルスソフトテニス選手権大会  
代表選手選考及び申し込み手続きに関する過失について（報告）

神奈川県ソフトテニス連盟では、令和4年11月24日に第29回全日本シングルスソフトテニス選手権大会の神奈川県代表選手選考について不当な選手選考を受けたとの通報を受けました。

本件について経緯と事実確認を行ったところ、標記大会が関東地区（埼玉県）での開催のため、特別に例年の出場枠である4名が6名に増えたので、本県選手に中央大会参加の機会を提供すべく配慮したところ、その選手選考及び申し込み手続きの過程において、担当役員間での正確な報告と確認行為がなされず、県代表に決定したと知らされている選手が本大会に出場出来ない事態が発生していたことが判明しました。

本件の事態発生後に担当役員である競技委員長と強化委員長から選手ご本人にお詫びし、ご了承を得られたものと理解しておりましたが、この度通報を受け当連盟としては、重大案件として本件の調査を進め、何よりも再発防止に努めてまいります。とりあえず事態について報告いたします。

1. 参加申し込み手続きミスの発生大会

第29回全日本シングルスソフトテニス選手権大会  
（令和4年5月14日（土）～15日（日）開催）

2. ミスの形態

第29回全日本シングルスソフトテニス選手権大会県代表選手は県シングルス選手権大会（兼関東及び全日本シングルス選手権大会県予選）の成績上位4名を決定したが、今年度に関東地区開催のため出場枠が6名となり、追加の代表選手として決定したことを知らされながら、本大会に申込されず出場できなかったもの。

3. 経緯の説明

全日本シングルス大会参加枠の増加が判明したため、国体シングルス予選（相模原淵野辺運動公園）において、1)男子は全日本シングルス大会予選会でベスト8に入っている上位選手から選出すること、2)国体シングルス大会に出場している選手を優先することが決定されました。

その結果、A選手を追加の代表選手として決定しましたが、後日、A選手の全日本シングルス大会の申し込み漏れが生じたことが判明しました。

#### 4. 当連盟の対策

当連盟は、上記一連の事実を確認したので重大な事態と捉え、徹底的にミスの原因を究明するとともに再発防止策の検討を進めます。

今回の事態は、競技委員長と強化委員長の連携（報告と確認行為）不足により生じたものと考えられます。

A選手には、多大なご迷惑をおかけしたこと深くお詫び申し上げます。

今後このようなことが起きないように、委員長間の連携を深めるなど、再発防止に努めてまいります。

以上